

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	✓			児童が駆け回って遊べ、全員が参加できる レクリエーションスペースがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	✓			基準以上に配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	✓			全面バリアフリー化とし、手すりもある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	✓			課題に対してミーティングを行い 振り返りをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	✓			年度ごとにアンケート調査を行い、保護者の意向を 把握して改善の努力をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	✓			弊社ホームページ http://www.kcsmed.jp/?page_id=10 の下端に評価を公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	✓			相談支援事業所やその他関係機関の評価により 業務の改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	✓			外部研修への参加、および月1回の内部研修などにより、 研修の機会を確保し、知識及び技術の向上に努めている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			更新時期やニーズなどあった際、面談を行い課題を 共有しながら本人に合った計画を作成している。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			視覚優位による絵カードなどを活用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			各スタッフの意見を取り入れながら立案を行い、 結果をフィードしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	✓			積極的に子ども達の意見なども取り入れながら 固定化しない工夫を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	✓			平日、休日、長期休暇に合わせ、目標や目的を設定し プログラムやイベントなどを行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	✓			一日の流れを計画し、絵カードを使用しながらの支援、 レクリエーション等を組み合わせている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	✓			朝のミーティング時、利用者状況及び スタッフの役割分担を決め一日の流れを 共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか	✓			送迎後、反省点や改善点を記録に残して共有し、 また又翌日の朝のミーティングでも 伝えるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			業務日報は必ず作成し一日の活動の様子を 写真で記録を残している。 送迎後支援検討を行い反省点をスタッフ共有している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			必ず3か月又は6か月に一度、状況に応じ定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを図っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	✓			一人一人のニーズに合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			児童発達管理責任者が情報を提供するなどして、会議に参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓			週、月、年間と、行事予定や下校時刻など学校や保護者に確認しながら連絡や調整を行っている。毎月月末にはおたよりや報告書も提出し、問題等ある時には面談も行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	✓			必要性のある児童には、医師の指示内容を把握し指示通りに対処している。また、嘱託医からも情報を得たのち、看護師と情報を共有している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			支援内容に対し、情報共有を行い相談も行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			担当者会議などを行い情報を提供してスムーズに移行出来るように行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			支援センターのアンケートや情報提供などのアドバイスなどにより参考としている。また、県の研修などにも参加するようにしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓		地域の公園で他の児童と遊ぶなどの交流はあるが、児童クラブとの交流の場は今後検討したい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		✓		現状では参加できていないが、今後検討していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			送迎時に必ず様子や変化などを伝え、活動の写真を配布し共通の理解を得ている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			✓	保護者との面談時に相談支援員と共にアドバイスや情報を提供し支援を行っている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			重要事項説明時、および質問に応じてその都度対応している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			相談や悩みがあれば、相談員に連携を図り、時間を調整して助言や相談を伺う場を設けるよう心掛けている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	保護者の要望等があれば今後検討し支援したい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情はほとんどありませんが、あった際は真摯に向き合い早期改善に向けご家族様と協議していく。 次の対応について、記録を残し共有している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			毎月きゅーぶだよりを発行し、活動の様子などを伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	✓			職員の署名、および会議等で研修を行い、個人情報の管理に十分注意を図っている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			視覚で分かるよう、写真や絵付き文章にまとめている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			地域活動があれば参加し、地域に貢献できる運営を図っている
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			全てのマニュアルを策定しており、各スタッフに周知し閲覧を促し、閲覧後にサインをもらうようにしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年2回春、秋に実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			外部研修、および会議等で虐待に関する研修を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			身体拘束を行ったことがないため記載事項はない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			アセスメントにてアレルギーの有無を確認し、必要に応じて指示書をいただいている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			各スタッフにヒヤリハットの必要性を促し、今後の事故防止やケガの予防のためにファイル共有している。